

『一人の笑顔のために』

新年あけましておめでとうございます。



例年より短い冬休みでしたが、大きな事故や病気・ケガ等の連絡もなく、元気に登校する生徒の姿を見てホッとしているところです。今年も、生徒一人一人が自分の夢に向かって歩みを進めてほしいと願っています。そこで、冬休み明け全校集会では、松下村塾を開いた吉田松陰の次のことばを紹介しました。『至誠を貫きなさい。至誠とは、普段やらなければいけないことを、真剣に、本気で、誠意を持ってやることだ。絶対に手を抜かないで、真剣にやりなさい。そうしたら、いつか自分の役割が必ず分かる。』

自分の進路（生き方）を見つめる

新しい年を迎え、3年生にとっては進路決定の時期となりました。
今月からいよいよ高校入試が始まります。
熊本県立高等学校の入試には次の2つの選抜方法があります。



前期（特色）選抜：受検者の多様な能力・適性や意欲・関心、努力の成果等について優れた面を積極的に評価する入試です。

後期（一般）選抜：受検者の中学校教育における学習成果を総合的に評価する入試です。

熊本県立高等学校入学者選抜の「前期選抜」では、各高校「重視する観点」を示しています。1つの例を紹介します。次は北稜高校 ビジネスマネジメント科の重視する観点です。

次の①～④のすべてを満たす者。

- ① 本校の校訓である「創造・勤労・感謝」を柱とする教育方針をしっかりと理解し、高校生活に主体的に取り組み、何事にも前向きに努力することができる者。
- ② ビジネスやコンピュータの分野に興味・関心を持ち、その専門的な知識・技能の習得に努力し、本科で学んだことを将来の進路につなげようという意欲を明確に持っている者。
- ③ 中学校において日々の学習活動、文化・体育活動、生徒会活動、地域活動などに積極的に取り組んだ者。
- ④ 身だしなみ、あいさつ等の基本的な生活習慣が身につけている者。

今の自分の姿を振り返ってみましょう。これらの条件を満たしていますか。

これからの自分の生き方を考えてほしいのです。「進路を考える」とは「自分の生き方を見つめること」だと思います。高校で学習するという事は、より専門的な知識を身につけることによって、自分を高めるとともに、社会に貢献する力を身に付けることだとも考えています。自分さえ良ければではなく、周囲への目配り・気配りができる人になってほしいのです。学習するとはそういうことだと考えています。だから、高校側も上の①～④のような条件を出しているのでしょう。

これからの進路には楽しいことばかりではなく、大変なこともあるかもしれませんが、しっかり自分の足で歩みを進めていってほしいと願っています。ある高校生の詩を裏面に紹介します。

「わたしはこの道を歩いて行く」

K高校 衛生看護科 2年

昔、幼い頃 デザイナーに憧れていました はなやかなその世界に憧れていました
だから あなたは看護師になるんだと言われたとき イヤダ！ と泣いたわたし
白衣の天使なんか ナイチンゲールなんかに ただの一度も憧れたことのなかったわたしです
今、わたしは 看護師の道を歩いています 仕事がいやで泣いたことも
ホームシックで泣いたことも 決して忘れることができません

患者さんが・・・一人の人間が わたしの目の前で亡くなりました 悲しみと驚き、そして涙
神を信じたことのないわたしが祈りました この人を助けてください 奇跡を起こしてください
呼吸がとまり 指の先やくちびるが紫色に変わり やがて心臓はとまった
神はいなかった 奇跡は起こらなかった 何もかも捨てて逃げ出したかった
もう何もかも いやになったんです

患者さんがわたしに言ってくれます あなたが、一番よくしてくれる・・・と
そんなことばに 涙が出るほどうれしい ああ、この道を選んでよかったと・・・
半年間 めまぐるしいほどにいろいろなことがありました
人間の命の大切さ そしてもろさ いろいろなことを学び見てきたわたし

つらいことも 苦しいことも 逃げ出したくなるようなこともありました
でも、わたしはこの道を歩いて行きます
決して心から好きで選んだ道ではないけれど 自分で選んだ道だから最後まで貫いてゆきたい
ほんとうにこの道を選んでよかったと 心から思える日まで 生きてゆきたい